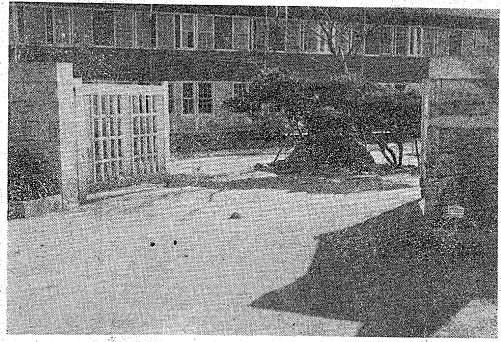
同窓會便り

NO.7
東京都目黒区上目黒八丁目六六〇番地
駒場高等學校・仰光寮内
駒場松桜会　振替東京28486



新装なつた母校々門

恩師のお便り（原文より抜萃）

（順序不同）

廣瀬雄先生

何事もせず何事もなく今年
また新しく年をとりたり

今井伴次郎先生

此頃鎌倉彫を始め、とても面白く時の経つのを忘れます。時々仰光寮で皆様に御目にかかるのを此上ない楽しみにして居ります。

丸山文作先生

コトシ七八才、去年家内ガ胃癌デナクナリ、子等八人ミンナ恙ナク、孫ワ十四人居リマス。学校エデモ宅エデモ昔知ノ方ノ御イデヲ歓ビ迎エマス。（トキワ松学園長）

堀内順之助先生

健やかに齢積み今迎ふ
我家新年いとどめでたし

己の年やのらりくらりと生のびて
斉の春迎えぬ我婦しとも

我を産み我を育み今や又
老を養う故郷の山

中澤美代先生

「松よ桜よ」と高らかに唱つた麻布の丘時代の楽しかつた夢、その夢の国に今なほ限りなき想い出と共に無事余生を送つて居ります。

小野忠治先生

当年七十四才、幾分中風気味がありますが先づ健康です。福岡、金沢、大阪と転々、昨夏東京に帰りました。其間、好きな史学や考古学などに関心を寄せ多大の収得がありました。

武居芳成先生

世事を忘れ、俗事を棄て省ず閑雲野鶴を友と心得、浩然の気に消日致して居ります。本年八十才

法貴するゑ先生

幸に健康に恵まれ、眼も耳も衰へず、眼鏡なしに裁縫編物読書に事欠かず、春秋の好時節には、観劇又は近郊の親類縁者の訪問等、退屈するひまもございません。

芝野六助先生

（御元気で時々の同窓会関係の会合に御出席になります。）

藤井初太郎先生

子供四人中女二人は母校の御世話になり、孫二人になりました。私も七十二才の老令、唯昔なつかしく古い卒業生の方からのお便りが何よりです。

林正躬先生

今もなほ昭和学院短大に出ています。この冬休を利用して数日近畿旅行を致し、法隆寺や奈良の西の京などを独りで歩き乍ら、第三時代の旅行の思出にふけりました。

徳永八千代先生

半歳あまりの養老の山居より名古屋に移り、二度目の新春を迎へました。いつも在名同窓の方々の御温情に浸り、感謝申して居ります。

村田ミイ先生

五、六月ごろ、今井慶松先生追善演奏会が歌舞伎座でありますので私の作曲「静」を演奏する積りで居ります。箏曲楽譜教授の伝統を私亡き後まで残さんとその準備を進めて居ります。私の芸名は村田松泉。八十五才でございます。

櫛引友三郎先生

新年に当り、誰も幸福を祈りますが、私などは近年老体となり、ますます精神的なものを求めることが強くなりました。老若にかかわらず何らかの希望に生きることはほんとうの幸福と思います。

阿佐美千代乃先生

買物籠を手に店頭にたたずんでいるところ、または電車の中などで見つけられ、「先生」の一声にあたりの視聴を浴び、前身をさらされて赤くなることが度々ありますが、立話、数分、誠に印象的で、いつまでもぬくもりが残つて居て好しいものです。三子のうち二人の娘を嫁づけ、やがて一男に世帯を持たせると親の役目が一応果たせて振り出しに戻るわけです。

川村花野先生

平和の新春を私もつゝがなく迎へました。年は数へぬことに致しました。

西脇呉石先生

本年七十四才息子三人孫九人皆丈夫です。自宅稽古の外に、肉筆手本の通信教授、文化書道学園の印刷手本の通信教授をして多忙です。余技として南画を描いて居ります。

蒲生さと先生

一昨年軽い脳溢血以来、只ぼんやりとコタツに当つているような日常で自然筆とることもおつくうで皆様に失礼致しております。

木下ふさを先生

半白の髪を洗いて老の春

小倉遊亀先生の修養会の一員に加えて戴き、大分啓発されつゝあります。同窓生の御力で仰光寮の周囲に木を少し植えて頂けたらと思いますが如何でしょう。

渡邊きくよ先生

子供たちが皆青年になり、そろそろ縁談その他に皆様の御力を拝借せねばならないと思つております。

小尾虎雄先生

小生四十五歳になり、前頭が禿上りましたが相変らず顔色はよい東京都総務局私学課長という役で私立学校のお世話をしています。今年は千駄ケ谷に引越す予定です

吉田しつ子先生

一家健康に暮しております。孫達それぞれ成人致し、拙宅に集合の時は三十人余りの人数で大さわぎです、本年八十一歳です。

三代川千代先生

子供も大きくなりまして暇も出来ましたので、趣味の手芸等あれこれと楽しみつゝ忙しく過しております。

寺島以登代先生

伜夫妻に孫三人、しみじみと物思う暇もない賑やかな毎日でございます。却つて若いころより丈夫になり有難いことと感謝しております。

小島君枝先生

昨年三月、久しぶりに都会の生活に戻りました。第三の衛生室で授乳致しました長女と次女が三田高校に通学致しますのを見ますと今更ながら年月の早いのに驚き、第三の頃をなつかしく思い出して居ります。

玉井きみ先生

旧年中は高血圧のため失礼致しましたが新年からは調子がよろしいので今年こそはと思つて居ります。十二月末、息子の小さな家が節子の研究資料として出来上り、家族四人が引越しました。子供の居ない家になり静かでよい時もありますが淋しい時も出来ました。

皆見瑞穂先生

戦火で焼けてから身体を働かすようになり、一人で三人前以上の仕事をして居ります。やれば何でも出来ます。長女には孫女児三人長男には一女一男。次男は渡米留学中。三男教育大三年生。

武内貞先生

長女は五年前、次女は三年前嫁き、長男、三女はそれぞれ今春大学卒業。今春は四人の子供を皆社会人として巣立たせる事になりまが、安心というよりもこの多難な世の中に、誤りなく処して行つてくれる事をのみ祈つて居ります。

希望と御願い

長倉邦雄

そろそろ駒場の卒業生が御嫁に行く年頃になりました。時々結婚式に呼ばれて行くのですが、新婦の紹介を「駒場高等学校卒業」だけで「元の府立第三高女」と云う但し書抜きで御話しになる場合が多くなつて来たことを興味深く感じています。「元の府立第三高女」と云う但し書は従来一種のほめ言葉であつたのですが最近になつて「駒場高等学校」だけでもすぐれた知性と感性の持ち主を世の中に送り出している学校として認められて来たことに対して、私は何だか重荷がとれたようなうれしさを感ずるのです。行く行くは古い卒業生の方々も「昔の第三」卒業とおつしやるよりも「今の駒場」を卒業したものですとおつしやる方が、より多くの喜びと誇りをお感じになる所まで学校を発展させたいものと思つています。

こう云うわけで、「古い第三の伝統を忘れては困る」と云う御忠言よりも、「こんな工夫をすれば駒場はもつと発展するのではないか」と云う御忠言をどれ程御待ちしているかわかりません。

学校は過去の名声を維持する為にきうきうとしているよりも、明日の希望と喜びの為に、絶え間のない工夫と努力を重ねて行きたいものと思つています。

此の前在学生に「誰に叱られるか」と云う調査をしましたが子供達を一番叱るのは「お母さま」と云うことになりました。約五百の叱られた場合のうち、その六十パーセント、即ち三百回は「お母さま」が叱つているのです。「お父さま」の叱る率はぐつと少なくて約百回、全体の二十パーセントにすぎませんでした。

これと同じように女性だけの同窓会と男性だけの同窓会とを比較してみますと、私のひがみかもしれませんが「女性だけの同窓会」は「男性だけの同窓会」よりもよけいに現実の母校に御小言をおつしやるのではないでしょうか。あんまり御小言が多ければ御小言を受ける方は不感症になるか、反抗心を起すかでよい結果は生れて来ないと思います。どうかあまり御叱りにならないで、学校が常に希望に燃え、勇気を振い起すようによい智恵と、力強い御声援を御願いします。

昭和廿六年度 收支決算書

自昭和二十六年四月一日
至昭和二十七年三月卅一日

經常費

收入之部

事項	予算額	決算額	増	減
総額	二二八、一六七、一七	五七二、八五一、一七		
前年度繰越金	六六、一六七、一〇	六六、一六七、一七	六六、一六七、一七	〇
会費	一〇〇、〇〇〇、〇〇	三四六、九六八、〇〇	二四六、九六八、〇〇	〇
名簿代	四〇、〇〇〇、〇〇	一二三、四三〇、〇〇	八三、四三〇、〇〇	〇
預金利子	二、〇〇〇、〇〇	九三六、〇〇	〇	一、〇六四、〇〇
雑収入	二〇、〇〇〇、〇〇	三六、三五〇、〇〇	一六、三五〇、〇〇	〇

支出之部

事項	予算額	決算額	増	減
総額	二二八、一六七、一七	五七一、八五一、一七	三四四、六八四、〇〇	〇
編輯部総額	一一〇、〇〇〇、〇〇	四四七、六一六、〇〇	三三七、六一六、〇〇	〇
会報及名簿	九五、〇〇〇、〇〇	三七九、五二五、〇〇	二八四、五二五、〇〇	〇
通信費	一四、〇〇〇、〇〇	五四、二八一、〇〇	四〇、二八一、〇〇	〇
雑費	一、〇〇〇、〇〇	一三、八一〇、〇〇	一二、八一〇、〇〇	〇
庶務部総額	八一、〇〇〇、〇〇	九四、三八二、〇〇	一三、三八二・〇〇	〇
備品費	一〇、〇〇〇・〇〇	一一、六六八・〇〇	一、六六八・〇〇	〇
消耗品費	五、〇〇〇・〇〇	七、九一二・〇〇	二、九一二・〇〇	〇
集会費	九、〇〇〇・〇〇	五、〇二五・〇〇	〇	三、九七五、〇〇
交通費	一〇、〇〇〇・〇〇	三、五八八、〇〇	〇	六、四一二、〇〇
事務費	一八、〇〇〇、〇〇	三九、六三五・〇〇	二一・六三五・〇〇	〇
印刷費	五、〇〇〇・〇〇	四三〇・〇〇	〇	四、五七〇、〇〇
通信費	二〇、〇〇〇・〇〇	一七、三六二・〇〇	〇	二、六三八、〇〇
雑費	四、〇〇〇、〇〇	七、七六二、〇〇	三、七六二、〇〇	〇
予備費	二七、一六七・一七	四、一〇五・〇〇	〇	二三、〇六二、一七
積立金へ繰入	一〇、〇〇〇・〇〇	〇	〇	一〇、〇〇〇、〇〇
次年度へ繰越	〇	二六、七四八・二六	二六、七四八・一七	〇

財産總額　五六・七四八・一七

内譯

積立金	三〇、〇〇〇・〇〇
朝日信託銀行本店金銭信託ワ八〇五〇の	三〇、〇〇〇・〇〇
經常費	二六、七四八・〇〇
第一銀行渋谷支店予金	三六・二〇
同右	一、七二三・〇〇
郵便振替貯金　東京二八四八六	二三、七九七・五〇
現金	一、一九一・四七

昭和廿七年度 收支豫算書

自昭和二十七年四月一日
至昭和二十八年三月三十一日

積立金

事項	予算額
総額	三〇、〇〇〇、〇〇
前年度繰越金	三〇、〇〇〇、〇〇
経常費より繰入	〇

經常費

收入之部

事項	予算額
総額	三二七、八四八、〇〇
繰越金	二六、七四八、〇〇
会費	二〇〇、〇〇〇、〇〇
名簿代	九〇、〇〇〇、〇〇
預金利子	一、一〇〇、〇〇
雑収入	一〇、〇〇〇、〇〇

支出之部

事項	予算額
総額	三二七、八四八、〇〇
編集部	一七二、〇〇〇、〇〇
会報（名簿支払）（名簿支払残金・及び会報年一回発行予定）	一二〇、〇〇〇、〇〇
通信費	五〇、〇〇〇、〇〇
雑費	二、〇〇〇、〇〇
庶務部	一〇九、〇〇〇、〇〇
備品費	五、〇〇〇、〇〇
消耗品費	八、〇〇〇、〇〇
集会費	五、〇〇〇、〇〇
交通費	一〇、〇〇〇、〇〇
事務費	三八、〇〇〇、〇〇
通信費	四〇、〇〇〇、〇〇
雑費	三、〇〇〇、〇〇
予備費	四六、八四八、〇〇

廿七年度總會報告

廿七年四月二十四日母校講堂において同窓会総会を開いた。当日は相憎く雨に見舞われお集り下さつた方々も七八十名の淋しい総会であつたが、この日今年初めて母校を卒業された男子の同窓生をお迎えし、また母校絃楽部に管楽部が出来、その初演奏を当日していたゞく等意義深い日であつた。

式次第は次の通り

一、開会の辞
一、校歌斉唱
一、理事長挨拶
一、議事
A、廿六年度会計報告
B、廿六年度行事報告
C、新年度の計画
一、基本財産確立の件
イ、年会費の完全徴収
（地域別に集金人を定めて徴収するという方法が大多数であつた）
ロ、基金募集の方法
A、興行（映画、音楽会、その他）に依るもの
B、売店の経営
C、バザーに類するもの
二、かねて計画した事業の推進
イ、校友会結婚相談所
ロ、互助会について
三、仰光寮設備の件
D、新理事の紹介
一、閉会の辞

事業報告

結婚相談部開設に就いて

明けて一昨年皆様の御協力によつて仰光寮の移築に依り同窓会々員の拠処を得まして日を追つて会員方の御利用も拡まりつゝある今日結婚適齢期にある子女を持たるゝ方達の頭を悩まさるゝ結婚問題の解決を同窓会のこれからなそうとする仕事の中に織こんで行き度という動議が出まして理事長先生にも御相談いたしました処早速に御賛同を得ましたので昨秋あたりより寄々会員の方々に呼びかけて相当数申込は受けては居りますけれども多数の中より選定せねば双方ともにより善き御縁は結ばれるものではありません故会報発行のこのよき機会に皆様より絶大なる御力を賜りまして同窓会最初の事業のこの相談所の開設を意義あらしめて頂き度と存ます御申込は同窓会々員 およびその子女或はその会員の保証する縁故者に限り度いと思います詳細は返信料封入の上仰光寮内結婚相談部宛に御問合せのこと規則書御希望の方も右に同じ

講演會

（十中　大野）

終戦後、同窓生相互の親睦と向上を目指して、一刻も早く実行に移された駒場扶寄会は、いつも有意義な会を持ち、その一つとして講師を招聘、お話の会を開いて居りました。これを広く同窓生におよぼしたいとの念願から、たまたま仰光寮の駒場移築を機に、同窓会主催として計画されることになりました。

第一回 一月
恵泉学園長故　河合道子氏
アメリカこぼれ話あれこれ

第二回 六月七日
東京家庭裁判所判事　森田宗一氏
現代社会における青少年の問題

第三回 七月八日
東京家庭裁判所調停委員　田辺繁子氏
これからの結婚はどうあるべきか。

第四回 十月十八日　田辺繁子氏
英国に学ぶもの、

第五回 十二月十六日
日本女子大学教授（十二東）　氏家寿子氏
生活の心と心の衛生。

何れも家庭的雰囲気のうちに心温る啓発される講演内容でした次回は三月中旬の予定聴講御希望の方は御通知を出します故仰光寮宛御申込下さい。

一回会費　五拾円、（茶菓共）

洗濯と洗張　一般の講習

昨十一月初旬斯道の大家古瀬やす子先生を有志相倚り仰光寮にお招き致しまして三回に亘り一般洗濯の知識と能率的な仕上げ方法及び被服全般に就いての処理に併せて今迄至難とされていました洗張一切の知識を実習に依り体得致しました、その折クラス会などのために御見附になりました方の中に縁側に坐りながらにして大島御召などが仕上つて行くのを御覧になつて是非次の集に参加させて頂き度いという御希望が多数ありますので三、四月には御期待にそうべく講習会を持ち度いと思つて居ります、これも御希望の向は仰光寮へ御問合せ下さい、何れ講習会開催の折には別に御通知申上ます、クラス会にて講習御希望あらば別に御相談に応じます

ビニール編の會

十東の落合様を先生に、御同級の村山様もお手助け下さり母校の生徒が多数集り、同窓生も加つて十月十八日より毎週土曜日毎に、約八回程、ビニール編の袋物の講習会を開催しました。色々の美しい袋が出来上り、生徒にも非常に喜ばれました。

映画とピアノの會

七月五日（土）午後二時より、神田共立講堂に於て、同窓会の事業基金募集のため、四二西長松純子さんの特別出演に依るピアノ独奏（曲目　熱情奏鳴曲　ベートーベン作曲　他）及び、フランス映画「女だけの都」映写の会を催した。先年度来度々の集会の事とて各クラス幹事方には一方ならぬ御骨折をいたゞいた御陰で、非常な盛会で、同窓生の協力の力強さを今更の様に感じました。

当日の会計は次の通りである。

総収入	一七五、七〇〇円
支出	五五、九七〇円
差引純益金	一一九、七三〇円

親睦バザー

七月五日開かれた映画とピアノの会の際に、同窓諸姉にパンフレットを以て、十月初旬バザー開催の件につき御意見を求めたが、格別の反応なく、更に八月に各クラス幹事の方々にバザー開催の可否をアンケートしたところ、開催に賛成の方が多数のため、やゝ準備不足の状態だつたが、急に母校の校友会大会の十月四日、五日に、同窓生相互の利益と親睦を目的とするバザーを開催しました。御熱心な諸姉の出品に依り、会場は多彩でありましたが、何分にも当日開催の通知をクラス幹事の方に御一任したため、御存知ない方が多く御来場者が少くて、思う程の成果を得られなかつた事は誠に残念でありました。然しその後バザー出品を機として出品者（同窓生）に対して諸姉より御注文があり、引き続いて小さいながら事業として継続しています。出品物の売価は市価の二割廉から半額位でした

主なる出品物

〇九東縫ネクタイ（約二百点）〇ろうけつ染（麻のれん袋物等）〇鎌倉彫（下駄御盆等）〇桜人形〇茶目人形〇ビニール細製手提〇組刺製品〇レース製品〇スモックブラウス〇化粧品〇反物（結城紬）

なお、出品諸姉より純益金の五分を手数料として、同窓会に収めていたゞきました。　総額六、一三二円

このような有意義な催物を毎秋母校校友会大会の節開く事にしましたので出品に御希望の方はそれについてのお問い合せをお願いします。

仰光寮移築寄附金 決算報告書

第三高等女學校同窓會

收入之部

寄附金	一、三〇四、六〇〇円
預金利子	一、九七四円
合計	一、三〇六、五七四円

支出之部

仰光寮移築費	一、一八〇、五七三円
同　雑費	三八、七六二円
同　通信費	五七、六六六円
同　事務費	八、二二一円
同　印刷費	一九、〇四〇円
同　集会費	一、八〇〇円
同　交通費	三三九円
本会計へ繰入	一七三円

差引残高なし

監査の結果を正確と認める　監事　印

募金終了報告書

一、募金申請月日及名称
昭和廿五年九月五日
都立第三高等女学校同窓会五十年記念事業費
一、募金許可月日及番号
昭和廿五年九月十八日
総地募第一八二号

右別紙計算書を添え報告致します

昭和廿七年十二月十六日

募金責任者
東京都立第三高等女学校
同窓会理事長　長倉邦雄

東京都知事
安井誠一郎殿

地域別グループについて

同窓会総会において議決された東京都のグループはその後理事の手により、名簿用クラス別カードの整理から始めて約半歳を経て最近漸く各区別の名簿が出来上りました。ついてはこれにより各区毎に区長に相当する方を御願いし、更にその区内の各町（丁）別毎に町長に相当する方をお撰びし、町長にはその町内の同窓生の方々への同窓会関係事業の連絡および通信等を御願いし、区長はその区の中心になつて、名簿の保管および仰光寮本部との連絡に当つていたゞき、同窓会事業の進歩および発展に役立つていたゞきたいと存じます。なおくれぐれも皆様の御協力をお願い申上げます。

区長を御承認下さいました方々は次の通りで御座います。

世田谷区	二九南	荻原
杉並区	七東	宮川
武蔵野市	一五東	竹内
港区	二二南	大堀
渋谷区	二六西	上田
目黒区	二五東	石橋
大田区	三〇中	中村
品川区	三三西	野田
豊島区	五中	神平
新宿区	六中	奥平
文京区	二〇東	稲田
千代田区	七東	岩瀬
中央区	七中	前田
三鷹市	一一中	高鉾
中野区	七西	曽我部
練馬区	一四西	竹ノ内

—高等科卒業生に對する中學校教員假免許狀下附について—

昭和廿七年度より本校高等科卒業生に対して、文部省より中学校教員の仮免許状が下附されることになりました（国語、社会、英語のいずれか）（詳細別掲）

御希望の方は、駒場高校事務所にて委細御問合せ下さいませ。

和歌俳句

十九東　加藤テル

くしきかな愛のきずなに結ばれて一つによれる四つのたましい

離さしの心忘ると引よせてする墨の香しのるき秋の夜

酒造るわざに暇なくこの宵も君まさぬねやに独りかも寝む

除夜の鐘の音を聞きて

かねの音にわがこしかたの足どりも胸にひゞきていとも恥しき

たまゆらに過ぎゆく今を後の世の為に過ぐさむ心あかるく

年立つ　十二中　及川貞

遺影下の遺愛ピアノに輪飾す

初み空ひたきは霰の梢めざす

古扉やひとり琴ひく松のひま

寒梅のおそし初鶯まれゆゑか

四十東ひろ子留学してあれば

寒のばら賀ひぬ遠き子生れしけふ

たゞ寒く変らぬひと日冬の留

風邪のひと多し言ひぬて我も伏す

投稿募集

同窓生皆様方の最近の御便り、また海外にいらつしやる方々の御便り随筆、感想、研究発表、和歌、俳句等を会報にのせたいと存じますので、ふるつて御投稿下さいますよう御願い致します。

先生御逝去のおしらせ

生出亀之進先生
昭和廿八年一月廿六日

和田精一先生
昭和廿七年四月廿六日

右の二先生が御逝去遊ばされました。謹んで哀悼の意を表します

年會費納入のお願い

地方にて年会費未納の方は同封の振替用紙にて早速御送り下さいませ。会費は一年金百円で御座います。終戦後一度も納入なき方は外、多少本年度分の外選上つて御払頂き度うに存じます。（二面同窓会会計について）御参照願います。

同窓會總會お知らせ

次の次第にて昭和廿八年度の同窓会総会を致します。今回は従前と異り、母校を離れた場所で催しますのは残念でございますが年来の同窓会の問題になつて居ります会計面の一助にしたいと存じ映画と舞踊等を総会に加えまして、入場整理費を若干頂戴致す様な計画に致して居ります。

何卒御協力賜わり皆様御誘い合せ御出席願い上げます。

なお、この発表を以て総会の御通知に代えます。

一、日時　昭和廿八年四月廿五日午後一時開場
一、会場　神宮外苑日本青年館
一、入場整理費　百円の予定
入場券は委員の手より御手許まで御とゞけ致します。当日会場に直接御出かけ下さつても結構です

名簿について

昨年三月会員名簿発行後もぞくぞくと不明会員の御住所が知れて悦ばしい限りでございます。なお名簿一冊百六十円で残部限りがありますので御入用の方は早々お申越し下さい。これまで名簿申込まれた方には全部届いているはずですが若し未だの方は至急御連絡を係の手落ちかと恐縮に存じますがお申込み済みで御住所不明の廿八西山崎久〃、卅一中松井トシ子、四四西清宮のぶ様方にはお送り出来ず困つておりますから御住所御存知の方はお知らせ下さい。また名簿代未納の方は至急お願い致します。

仰光寮移築追加寄付及訂正追加

寄付者（敬稱略）

七中原ミツ、九中谷口すみえ、十八西足立勝子、石川富士子、二五南五島敏子、三九西中山知子、一三西青山文子

前号掲載洩れ

二乙阿部和子、吉国松子、青山キク、森山せい、星野てい、吉田泰、新道飛、稲葉あい、十二中西原豊、十五南佐藤弥生
二七南梶原百合子
二九中川西光〃、三五東八十島千代子、三九中海老名静江、四一南重久智子

前号の訂正

三十南松崎波は松田の誤、四一南が加藤紀久子は百々子の誤
廿七、西高橋利江は廿七、東の誤

いつも樂しい武藏野チエーン

武藏野館	電話淀橋（37）0521番 1403番
新宿大映	電話四谷（35）2941番
荏原大映	電話荏原（08）4937番
中映大野	電話中野（38）2013番
自由ケ丘武藏野館	電話荏原（08）0895番
辰己武藏野館	電話深川（74）5311番
大宮武藏野館	電話（118申込）0824番
大井武藏野館	電話大森（06）4934番
尾久武藏野館	電話下谷（83）7545番
高輪映画劇場	電話三田（45）4454番
人形町武藏野	

武藏野映画劇場株式會社
武藏野映画劇場株式會社社會事業部
社長 會長　河野義一
（15西　河野愛子）

ボーグ洋装店
むさしの美容室
新宿むさしの館隣
河野美智子　經營
（15西　河野愛子さん令嬢）

可愛らしい
アクセサリイの店
あかしや
新宿むさしの館横
46中　河野るり子

東横のれん街
カステラ古舗
文明堂
銀座店　銀座（57）〇〇二〇・二〇〇〇
新宿店　淀橋（37）〇〇〇二
28西　宮崎須美子

金田寫眞館
世田谷區代田二丁目九一六
TEL（32）〇八四二

お山の石

石川キクノ

学校は今第三学期で一年中最も忙しい時である。年が改ってめでたいと一月を待し、二月三月は学校の年末ではや「雨の日も風の日も安らかに守られつ……」「朝な夕なに怠らず……」と歌の練習が聞える。いつ聞いても学び舎の感激が甦りなつかしく、なお思い出されるのはお山である。卒業や入学に春を待つ頃道灌山にも紅葉ケ丘にも白木蓮の大きな花びらが散る。その下に角ばった石、何か由緒がありそうで、或時石摺りをとったことがあった。また芝生の北端に一本のしだれ柳があり、大きな石のあったことを御記憶と思う。椎の木はセンターボールとは切れぬ縁があり四十五年の長い星霜は全く平和のお山であった。

思いがけない戦災のため本校舎は灰燼と化したがお山が残り仰光寮と体育館は必死の守りにより災厄を逃れた。その後情勢の推移で中央に都営住宅が建てられ、体育館は現校舎の一部に代替され、数年は変り果てたお山に、木や石が静かに残されていたが、既に御承知のように、皆様のお力で仰光寮が現校地に立派に移築され、更に重ねて故小林校長先生の御胸像並に広瀬校長先生の御歌碑も当校地内に再建された時、お山の石も共にお運び頂いたことは、係りの皆様の周到な思いやりと、ありがたく嬉しかった。その後牧野絵画館の傍に寂しくたゝずんでいたが、駒場四回卒業の皆様が記念として立派な門を贈られた。帝都線東大前からまっすぐ南、松のさしかゝった佳い場所の大きな門扉が左右に開かれると正面に桜と松の栄える中心に大きな石が据えられた、これがお山の石である。またなつかしい幾千人の乙女が寄りかゝり親しんだあの石は南にむき、今は毅然と正門にたゝずまう。石に心あらば今何を思うであろう。

此の様に校地、校舎が発展整備された今日地方の皆様は御上京の折に、在京の皆様は春の桜に夏の緑に、プールの水に、或は秋には新地の新設トラックでの運動会など折にふれ御覧において頂いたいと思う。今を見るものは何の不思議もなく、まだ不足不満は多いが、昭和二十一年九月こゝに学校が移って以来の苦心を顧ればよくこゝまでになったと感謝に堪えない。そしてこの上とも学校の隆盛は各方面に目覚しく五十年の後に続くものとして実力を発揮することは疑いない

しかしそれはみんなの努力でなければならないし、それだけの責任がある。時代が進み、場所は移り、人は変っても一貫する「よさ」は不変のものであると信ずる朝に夕に私に昔を語ってくれる無二の友、お山の石は、新教育の場駒場高校の正門に「学」の悠久を教えてくれる。

お千代さん

十東　大澤若枝

去年の夏、わたしが北軽井沢のお家に千代さんをお見舞したのがわたしがあの人にお会いできた最後でした。

目にしみて痛いような青葉が山を埋づめ、山の空は深く深く少しの濁りもないその色を湛えておりました。人の家並に遠く世間から忘れられた林の中に青葉と草花に埋もれて千代さんの病室は廃のようにさゝやかに、御堂のように静まりかえっていました。離れの四畳半は一切の過度を捨てて滑らか、に南東に向いて開かれた窓からは青い空と遠く県境の山々が見え、聞こえるものとてはその下を流れる小川のせせらぎがそうそうと山の静寂を深くしているばかりです。狭い部屋のベットの周りには薬ビン、コップ、水差しから、手帛や散り紙やタオルや、或は多くの手紙のたぐいまできちんと重ねられ、人手を煩わさずに済むように一つ一つ手を伸ばせば届くところに並べられてありました。このような身の廻りの品にじっと見守られて千代さんは風のようにすさぶ秋の夕べに、また雪明りの忍び寄る冬の明け方、同じように明けては暮れる淋しい毎日に、或るときはこれらの調度の品々におはなしをし、またある日は、優しく忠実な看とりから無言の慰めを受けていたのではないでしょうか。足もとの壁に懸けられたマリヤ様の御像が注射のあとらしい湿疹で傷ましい千代さんの手足をじっと見つめていらっしゃるその御目、仮りそめの御病気から五年――明るい夏も暗い冬もマリヤ様と千代さんと御夫君だけの明け暮れ、その間にこの部屋の中の一切の不純なものは浄められて胸を病む人の身辺には、ただ浄らかな気配だけが薄絹のように感じられてなりませんでした。

未だ御夫婦で京都にお住まいの頃は、お子さんのいらっしゃらなかった千代さんは数多くの御主人の御弟子を御自分の子供たちのようにお世話していらっしゃいました。学者の家の主婦としての御主人えのお務めぶりを先年京都のお宅で拝見し、わたしなど千代さんの足もとにもおよばないと存じ上げて帰って参りました。御宅での輪読や演習のときなど、御自身如何に御主人とお弟子たちの両方に遺漏のないように細かにお気を配っておいででございましたろうか軽井沢の山に病むようになられてからも、御主人を慕って訪ねるお弟子たちはその度ごとに御病気の千代さんを慰めてさし上げる模様で、それが何よりも嬉しいと喜んでおいででした。妻としてまた「母」として、千代さんのように愛情に満ちて終始御夫君元先生のよき支えとしてその尊い御生涯を捨身に捧げ切られた手弱女の千代さんをわたしたちはとうとう失ってしまいました。

面を沈めて別れを惜しむ千代さんを残してわたしは俄かに流れ始めた霧雨の中を山を降りました。もはや二度と上ることのない下り道でした。その秋も暮れ今年のお正月、わたしの手もとに一袋の小包が届きました。袋の中には一升に近い豆が一粒一粒青々と輝いておりました。病床から指図をしてお丹精なさった貴重な豆、岩波書店から田辺元先生宛の袋を裏に返しての病床で御自分でお作りになったと思われる色紙、余りに懐かしいこのお豆は、親しい級友にお分かちして戴いたのも千代さんの哀しい想い出となってしまいました

今度の春こそは、元気になれるでしょうと毎秋のように繰り返しては心から待っておいでだった千代さん、来る年の春を待つことも出来ずに散っておしまいになった人にこの秋は余りに淋しうございました。（旧稿昭和二十六年秋に）

（註　お千代さんは十東故田辺千代子様）

仰光寮をのぞみプール建設

高等科卒業生に
中學校教員假免許狀下附

中学校の仮免許状といっても実際には本免許状と何等損色のない効力を持っており、教育職員として必要な実務経歴さえもてば（即ち一度学校などに奉職すると）本免許状に切りかえられ、又不足単位を大学の認定講習とか、大学の通信教育などで獲得すれば、より上級の免許状に切りかえられますから、この際なるべく早く手続きをして免許状をとっておかれることをおすゝめいたします。

仮免許になる教科は、二十四回以前の方は国語と社会。二十五回以後の方は、国語と社会、あるいは英語（仏語）と社会の各二教科です。

仮免許状下附に必要な書類は次の九通です

本人　一、教育職員検定願
学校　二、人物調査書（出身学校長の証明、無料）
学校　三、學力證明書（出身校全学年の成績証明　十円）
本人　四、教科に關する證明書（後述）
本人　五、實務經歴書（教育職員として経歴あるものは提出、なお後述を見られたし）
本人　六、身体検査書（医師の証明）
本人　七、履歴書
本人　八、身分證明書（居住地区役所の証明、居住証明ではない。前科とかいろいろ身分上に関する証明をする）
本人　九、宣誓書

右のうち一、二、六、七、九は、東京都教育庁福利課（国電有楽町下車二分）に一枚一円で用紙を売っていますからそれを使います。

右上に本人とあるものは、本人で作成していただき、学校で証明するのと合せて九通出来上りましたら、都教育庁職員課免許班（右と同所）へ持参してください。免許状下附手続料は弐百円です。なお下附に要する期日は約一ケ月です。

右のうち、四は、本校卒業後大学に入学その他講習等で単位を習得した場合の証明で、五はもし今までに教育職員として勤めた経歴があればその職場の証明をしてもらうのです。

したがって四、五の二通はなくても資格を得ることができます

教育庁では免許の審査にもと本校の小尾虎雄先生（私学課長）が当っておられますから何かと御便宜をはかってくださることゝぞんじます。

御不審の点その他は、本校の鈴木菊雄教頭先生、石垣先生、佐藤におきゝください。

なお人物調査書(二)は本校でかいてさし上げますがその各項目をかくのに必要な参考事項をかいて、ご来校くださると便利です。その項目は次の通りです

思想　性格　指導力　研究心　社会性　長所　短所　その他

再建會

其後の御報告と思い出

事業完了後なお左の御寄附がありました。（敬称略）

金壹百円づつ
十八東原田花子、二十一中内田四十秒、二十四東重松澄子、二十五東茂見かず子、小林喜美子
諸田満子（以上札幌支部）

金壹千円づつ
六西浜地ふみ、九中岩城久子、十一中西村マサ

金壹百円づつ
五西丹羽あき子、十一中石田ふみ、二十西中村美津惠、三十中村田知子、三十三南岡田文子、三十五中　島津文江（以上　関西支部）

金三百円　八中原ミツ
金一百円　十東西沢たけ　十九東岸八千代　四一西野地洋子　三七南高橋徳子

前号報告書掲載洩れ八中岡田栄術

訂正　三東中川富栄百円は三百円の誤

金四百四十円　銀行預金利子
合計　五千参百四十円也

以上の金子をもちまして昨年九月、御胸像を囲んでつゝじ、さつき、沈丁花、雪柳、寒椿等を植込みまして、これらの方々の御心に添うようにいたしました。

あのお仕事をいたしました一人として、なれませんための心配の中にも希望を持ちつゝ毎日を過した去年の今ごろのことが思い出されまして、今日このごろ一しお懐しく再び思い出を楽しんでおります。

皆様のお力でこそ案ずるよりも安く成功をおさめ得ましたが、貴いあの事業の、なお後々までも無意味にならないようにありたいと念願するものであります。皆様、仰光寮を訪れられる都度先生の御像のみ前にも御挨拶遊ばして下さいますか。或は場所が少しく離れているかの思いをされる方があるかもしれません。でも小林先生は旧卒業生だけの先生ではないので母校即ち駒場高校の生みの親でありますがゆえに、あのように学校の中央に永久に鎮まって頂くのには最適の場所なので、校長様の御考えは誠に結構だと存じます。現在の生徒たちの上にも朝な夕な慈愛のまなこを投げかけられつゝあることを想い、これでこそ一つ血の通っているものだ、という嬉しさに再び皆様の御協力の賜を感謝し、母校の将来を寿ぐ心を深めるものでございます。

六東、寺尾満里子記

麻布第三跡の此頃

十三東　山本順

北日ケ窪の元第三跡は其後どうなっているでせうとよく卒業生の方からきかれます。全校舎が灰燼に帰して八年余の昨今の姿をお伝え致しましょう正門前の銀杏の大木が昔のまゝに亭々と聳え立っているのは懐しく入口上の生徒控室講堂とに続く二階校舎は殆ど以前の恰好と同じに建築されて城南中学校となっています。トンネル内の地球儀は見る由も無く正面の運動場へ上る石畳の坂は埋められて高い石垣に突き当り左右の石段から運動場へ出る事になっています運動場はあの大穴凹の所が平面になったのですから広々として男女共学の生徒が勢よく遊んでいました。お山下の池は跡も無く埋められ奉安殿も除かれて削り取ったお山の裾すれすれに二階建四教室が建って居ります。図書室の辺りから左へ坂を降りて下に出入門が新しく出来ました。現仰光寮跡は駒場への移転後未だ手もさえ入れず土台石が雑草の中に散見されてそぞろ御殿の名残をとどめています。上の運動場は都営住宅が十一棟建ち並び体育館は麻布税務署が納まり内部を二階仕切りとして署員の寮になっています。道灌山は昔ながらの古木がうっ蒼と繁り附近の子供達に天然の良い遊び場を与えています。あの緑ゆたかな芝生の感触は望むべくもありませんが記念樹白木蓮は少女心を今も伝えて滑く発々として繁っています学校名物のお花も主なしとて春を忘れず香やかに咲き誇り豊かな地形の下に育くまれた私共の幸福を今更乍ら感謝致されます

駒場ニュース

NHKに出演

NHKでは本年四月より「私達の学園生活」という新番組を設けたが、本校がまずトップをきって四月十六日出演することに内定しました。

米国音楽愛好家より
L・Pレコード寄贈
母校管理依頼さる

先般米国大使館において母校の長倉校長は左記の品を寄贈されました。

一、ロングプレイコード　五十五組
一、楽譜　三十包
一、図書　四冊
一、レコード・プレイヤー　一台

これは、日本の青少年音楽振興のために、米国の音楽愛好家から青少年シンフォニー協会に寄贈されたものですが、特に母校が選ばれてその管理を委嘱されたものです。レコードは合成樹脂製で曲目、演奏共に一流のものであり音質も極めて美しいものです。楽譜は約三千枚あり、プレイヤーも長時間レコード用の自動式プレイヤーで、凡て得難い貴重品であります。これらは日本の青少年に、より良き音楽をという目的で、寄贈されたものである。

谷間のグランド工事着々進む

母校ではかねてから校長先生関係当局の御尽力により仰光寮裏の谷間に総合グランド建設が計画されて居りました。第一にプール建設工事が始められ着々と進んで居ります。つづいて二〇五米のトラック、バレーコート、バスケットコート、テニスコート各二面がつくられ、完成は十月の予定でございます。

同窓會會計の現況に就て

卅三西　野田利子

この度紙面の一部を与えられたのを機に、是非皆様に現世の同窓会の経理状態を理解していただきたいと、一筆致します。

かねて仰光寮に度々御出掛下さる同窓の方々には、現在の経理状態のアウトラインは、略御理解いただけて居る事と存じますが、地方の方また、比較的仰光寮にお足の遠い皆様方には、恐らく御理解もまた興味もない事柄であろうと存じますが、目下の処の経理状態は、誠に危機と申しても過言ではない有様です。

現在同窓会の所持する財産は、定期預金三万円、普通預金十万円現金三千二百円、計十三万三千二百円でございます。この中の十万三千二百円を以て、同窓会の運転に充当させて居りますがこの会報の印刷発行および発送に約七万円を要しますと、残金は僅かの物となり、今後の運営に心細い状態となります。

では、年間同窓諸姉にどの様な奉仕をして居るかと申しますのに別項の事業報告程度の事にてその他には年一度発行の回報・クラス会等に仰光寮を御利用いたゞく事位の有様では、個々の皆様に対しては格別の御奉仕をして居りますとは申し上げられず、納入した百円の年会費をどの様に無駄に使用して居るかと御不満の事と存じますが、本年度は一月末日までに、千二百九十六名分十二万九千六百円の年会費収入ですのでこれを以て会員（住所判明）に対する通信その他の費用に当てます事は運転上誠に六づかしい事となって参ります。即ち会費御払込の方々の犠牲において仕事を致す様な有様なのです。一例を挙げますと、一度全会員に、葉書を以て通信致しますには約三万五千円の郵税を要します。これでは収入に比しいかに多額の連絡費を使用せねばならぬか、御理解いただける事と存じます。この状態を救いますには只ひとえに御住所分明な同窓の方々にもれなく年会費を納入していただく事のみでございます。もしこの事が成就されますと、年間六十万円に近い現金の収入を得ますので会のスムーズな運営が可能となり会報もこの様な貧弱な物でなく諸姉の御投稿に依る小冊子の発行も出来、また催物などして皆様に御無理を強いる様な事も致さずみ、かねがね懸案の、同窓の現在不遇な方々にも幾分かの御力になれる事業をも計画致せますが、前述の有様にては如何にも動きがつかず只今では、やはり催物等の臨時的収入を当にして運営して居ります状態でございます

先年来仰光寮建築の大仕事がございましたので、皆様方にも随分無理な御協力を御願い致しましたが、幸仰光寮も完全に再建され、今では寮を中心として同窓会の動きも、漸くに軌道に乗って参りました。連日のように、久しく通信の絶えた諸姉からの御連絡も有り名簿も日々空白がうずまりまた訂正されて行く状態となりました。

この上は一応経営面に落着きを見ることが出来ました暁には、松桜会も皆様の母体として、順調に発展して参れる時機が参ったものと、確信を持って居ります。そこで重ねて御願い致したいのは、会費百円の納入を御忘れなく御協力いたゞきたいとことです。時節柄、皆様方には御多忙のこととて同窓会に対しては定めし御関心もうすいこととは存じますが長い伝統を持つ松桜会員の御一人として、何卒同窓会を御見捨なく愛情と御関心をおよせいたゞきたく御願い申し上げる次第でございます。以上まことに雑然たる説明になりまして恐縮ですが、この経理状態および役員の苦衷を御理解の上、何卒、御協力賜わりたく御願い申し上げます。

年會費に就いて御願い

（会計理事）

松桜会も仰光寮を駒場に移してより早二度目の春を迎え諸先生並びに諸姉の御協力によりまして少しづゝその基礎を固めて参りました有為転変は世のならい時にふれ折にふれ松桜会を中心にして互にその幸福は喜び合い不幸は慰め合いまたはその各々の特技を分ち合いなどしてその向上をはかって行きます事などはどんなに有意義なことで御座いましょう。ガス電話など日常必要な設備も整えたく種々計画はしておりますが、何分にも先立つものは何とやら経費の点で行悩んでおります。これ等すべて年会費にて賄っておりますので皆様何卒会費を御納め下さいませ。振替または級会の折などに御納め願っておりますが、なかなか予定通りに集りませず係を悲しませております。御面倒と思召す方もおありかと思い、この度今まで方法の外に集金制度を試みることになりました。地域的にグループを作り会員間の適当の方に集めて頂くことに致しました。只今係が一生懸命にその準備を致しております御座います。何卒御協力下さいませ、年百円で御座います。なお御熱心な方にて正確にお納め頂いております方には感謝致します。（係）

仰光寮使用規定

仰光寮は次の通りの規定を設けております。どうぞ有効に御利用下さいませ。

一、申込場所　仰光寮へ
一、申込期日　使用の一週間前に
一、使用日　月火木（日曜日は申込順）
一、御使用者　旧職員、同窓会員及特別に学校の許可を受けたもの
一、御茶代　クラス会の場合一名につき二十円
一、茶菓の御用意は御便宜を計ります。

學校だより

この四月から皆様の仲間入りをする二人として、近く巣立って行かねばならない学校の最近の様子をお知らせしましょう。

谷間のグラウンド工事、アメリカから届いたレコード及びプレイヤー、次期執行委員長の選挙、音楽科の演奏会、入学応募情況、進学・就職の事――。ほんのこゝ一ケ月の校内の話題を拾ってみてもこんなに沢山ございます。学校をお出になって半世紀を経た方々から去年卒業なさった方々まで、母校につながる思い出は様々でいらっしゃいましょうが、五十年の伝統の上にたつ新しい駒場のこの歩みは皆様にどんな感じをお与えするでしょうか。

昨年十月に着工された谷間の総合グラウンドのプールは、現在底にコンクリートがしかれ鉄筋がはられるところまで進行し、バレーバスケット、テニスのコートとトラックの作られる場所は平らに地ならしされております。完成は十月末とか。憩いの場、語らいの場として愛されていた谷間がなくなることに一抹の淋しさを感じていた人々も、今ではそんな素晴らしい設備を本校がもつことを喜んでおります。

すでに新聞で御覧の方もおありかと思いますが、米国の音楽愛好家から青少年シンフォニー協会に寄贈されたロングプレイレコードとプレイヤー管理を本校が委託されたということが谷間に次ぐ大きなニュースでございましょう。時価数十万円の素晴らしいものでレコードも古典からごく最近のものまでを網羅し、何回かコンサートが開かれ授業でも聴きましたがその音色の美しさには全く陶然とさせられます。

規約改正により正副執行委員長が立候補制となって約半年、第二回目の選挙が三月末に行なわれます。まだ候補者は二、三名とのこと、もはや選挙権のない三年生でも本校の自治活動の将来のためやはり気になることの一つです。

三年生の就職状況は現在就職難にもかゝわらず六割強、進学適性検査の平均は四八・六で今まさに入学試験シーズンに突入せんとしています。

まだまだ話題は尽きませんが次の機会にゆずることにいます。（一九五三・二・一八）

仙台訪問記

十五西河野愛子

去る一月末島田先生が仙台に旅行なさるので、丁度私も東北に用事があり御一緒に仙台に参りまして、懐かしい同窓の方々に御会い致しました。

仙台地方では十四東宣場様廿一西黒川様、廿三東保谷野様を中心に、二十名程の方が年に二三回御集りになり、なかなかお盛にやっていらっしゃいます。私共のため一月廿二日宣場様宅でわざわざ御集りして下さいまして、十三名様も御出席になり、廿中鈴木様も遠くより汽車でお出かけ下さいました。

日の暮れ落ちる迄一日、中学校時代の楽しい思い出話の華を咲かせました。私が丁度持参致しました十六純ミリ「お母さん」も見て戴きお喜び下さいまして本当に嬉しうございました。尚保谷野様は第三卒業後、東北大を卒業し弁護士となられ、只今家庭裁判所等にて大活躍していられます。又宣場様は高等科生の北海道旅行の際函館で毎度非常な御世話下さった方でございます。

支部だより

札幌支部

新春を迎えますにつけ、母校の御隆盛を当支部会員一同御慶び申上げて居ります。現在会員は七回より四三回生まで二十余名、お当番持に開く折々の同窓会を楽しみにいたして居ります。昨九月初めには、小樽で東條様のお骨折で、銀鱗荘という絶景を前にしやれたお座敷でのお集りでしたが、汽車の時間に急がれて快晴の日よりの暮れきらぬうちの散会は心残りな位でした。十月末、江別町村様御宅での会は約二十名の出席者で、例のお子様方のお馬車での行き帰りは、同伴の楽しみでございました。今年度は新しく教育委員に立たれた原田様があり、その他各々内に外に、支部会員の活躍は中央の皆様に劣らない程でございます（文責　内田）

市川支部

特別会員林正躬先生が当市にある昭和学園にお勤めのことと、小島君江先生がこの地に御移転のことが判ったので、去る十一月十七日、両先生をお迎えして久しぶりの会合を小柳宅に開いた。新名簿により調べ上げて、市外でも総武線沿線の方には御通知したので新しい顔ぶれの方五名もお見えになり、折柄の庭の紅葉をめでつつ珍しく温かなお天気に日の落ちるのも気づかず、歓談の時を過した。

（出席者）林先生、小島先生
岩田（一甲）佐々木（十二東）
布施（十四中）和田（十五東）
小柳（十六東）清水（十六西）
梅田（廿三南）長谷川（卅東）
石田（卅西）富原、石川（共に卅四中）萩原（卅九北）

田園調布支部

昭和廿七年十一月二日廿五東石橋様の御骨折により再び田園調布カトリックセンターにて支部会を開きました。芝野先生にはお杖はつき乍らも御早々と御元気な御姿をお見せ下さりお懐しき言葉を遣され時の移ろも惜しき御様子でした。十二東氏家寿子様に「母と子の独り立ち」と題して有益な御帰朝談を伺い老いも若きも得る処大なるものがございました。集りし会員廿五名、自己紹介に親しみは更に湧き、石川先生御指導の下にファウストを踊り芝野先生には手を打ち足を振って共に興ぜられ、終りに駒3の1東野様の伴奏で校歌合唱の後午後五時散会致しました。

なお、伺えば同窓会としてもこれからの連絡網に各区、各町単位のまとまりが結成される様子でこれから各所にそのような最寄会もひらかれましょうから当支部もこれまでの東横、目蒲、大井各沿線よりの範囲をずっとせばめて田園調布一、二、三、四丁目御在住の方と致します。従って幹事間も他の方にお役をお譲り致します（十二東関）

藤澤支部

藤沢支部もこゝに第七回のお集りを致し、近く一月二十二日に第八回（新年会）を予定致して居ります。磯崎、富地様の御助力により旧きは第一、二回のお祖母様方から四十何回の御姉様グループを混えて何時も二、三十人位の盛会で御座います。第四回集会は高木氏に栄養学の御話を、第六回には今井伴次郎先生に「日本人の服装と色彩感覚について」を、第七回目には同級生の丸山様に「嫁と姑について」と題して我が国家族制度を詳しくお話して頂きました。この様にお集りの度に、何かよい新しい知識をと心がけております尚今年より富地様にお働き頂きました御仕事を前田様に遊ばしていたゞく事になりましたので御報告申上げます。（卅七中藤井）

名古屋支部

立春とは申せ吹く風も未だ冷く頬うちます此頃御機嫌如何お過しでいらっしゃいますか御伺ひ申上げます。さて当支部も秋のお集りには徳永先生御はじめ廿名余りの方々が御出席下さいまして誠に楽しい半日を過しました。そして今回は皆様方の御希望によりまして小山様のお力添へで中部日本新聞社の論説委員長清水武雄先生の時局談等伺はせて頂く事が出来ましてお話はそれからそれへと尽きる事もなく散会致しましたのは暮色せまる頃でございました。又少数の方々ではございましたが京都桂離宮の拝観等決行致しまして誠に楽しく過して居ります。年末松桜会の御発展をはるかに念じつつ簡単乍ら支部便りとさせて頂きます

廿八中亀岡、廿二西平松

京都支部

昭和廿八年の新春を迎えまして先づ母校の発展と皆様の御多幸を心深く念じ上げております。

年頭に当り昨一年間の支部の活動を回顧致しますと、四月には京都市染色織物試験場の見学を、五月には母校の修学旅行団御引率の石川先生方をお宿に訪問なつかしいお話しを伺い、同じく五月には銀閣寺畔の故橋本関雪氏邸に「関雪回顧展」を観、九月には若宮八幡宮内で皆様と和やかな団欒の一日を持ち、十一月には神寺の静かな部屋で京名物の普茶料理を味いながら心豊かな一日を過ごしました。

本年は支部の皆様の御意見や御希望を伺いながら更に更に意義のあるそして変化と愉しみをも兼ねた集りを持ちたいものと念じています。昭二八・一・六　柴田記す（廿二東）

關西支部

春秋二回の同窓会を盛大に継続している事は流石は第三であると誇りとしている次第。殊に西村、岩城、浜地その他の幹事諸姉の熱意と努力とお骨折りの賜である。

昨春は神戸一の沖天閣に七十名参集、記念撮影をもした。

十二月八日には西宮の海清寺に五十名参集、中の二甲牧野秋子様と卅南荒木美枝様は親子で出席、爆笑と遠慮のない会話に打ちとけた雰囲気を醸し出した楽しさ。

訃報としては三月に、二十南の渡辺様の御主人の御急逝である。哀悼を表するを機として積立金を試み大いに将来の活動と友情を深める事に張り切っている。最後に母校の隆盛と本部の御繁栄と皆様の御多幸を祈っている　鮎貝

熊本支部

昨秋は都合でのびのびになり支部のお集りが出来ませんでしたが十二月初め四家文子先生が御来熊になりましたので御同学年の島様の御宅に泊られまして市内に住っております者は夜分の独唱会にも参らせていたゞき久々にて母校のお話に東京を懐しむ事が出来ました。市内の者は時折御一緒に小級会のようなのが出来楽しみに会っております。近い中会を致し度いと思って居ります（二六南梶原）

駒場最寄會

廿四年以来続けて参りました此の会も会長の大沢様が家庭裁判所の調停委員に成られ御多忙なのと会の主眼である講演会がいつも有益なお話で会員のみで伺ふのが勿体ない気持がして参り、同窓の多くの方々にもと、思って居りました折しも、松桜会で講演部を設けられるお話がありましたのでお膝元でもあり合流さしていただく事になり、昨年八月、前から予定して有りました田辺繁子女史のお話を最後に当最寄会の講演会は無くなりました。併し会員相互の親睦の集いは続け度夏の夜に大沢様のお庭で涼を取り乍ら家族同伴でお近くの田中良画伯から演劇話など伺い楽しい時を過したり致しました。（堤）

久ケ原最寄會

皆様御元気でいらっしゃいますか委員の方々の御尽力厚く御礼申上げます。さて十月十五日久ケ原もより会を十六東の田中様宅にて催しました。楽しい半日を幹事の御心尽しの数々で昔にかえり思出話に花を咲かせました。二回谷口様四回岡田様を御長老とし十一回能瀬、山岸、簡井、斎藤様、十二回村上様、十三回本位田、竹田、鈴木様、十六回田中、坂原様、十七回長楽様と熱田の十四人でございました。十二回鳥居様は御急用にて、卅一の沢野様は御子様御病気のため御欠席にて残念でございました。この会もたゞ集るばかりでなく何かよいお話のもちより、または手芸品の教えあい等出来ましたら定めし有益だろうと考えて居ります。皆様御機嫌よろしく。十一東熱田

逗葉支部だより

当支部は名のみで誠に不熱心にてお知らせ申し上げるようなこともせず過して居ります之からは大いに活動的に努力的に致します当地方は御承知の通り家庭的に暇のある折は各家庭に来客多く共々に遊び過して他は、年中行事に追はれるという始末でございます、このためになかなか会合などを致します折がございませんので困ります次第です。　杉浦

仰光寮便り

☆クラス会…廿七年度には百二十八回、同窓生のクラス会がありました。母校の年々才々立派に整備された様子を御覧かたがた仰光寮を是非御利用下さいませ。この他に仰光寮は結婚式場にも利用された最近は、お茶のお集りとして、講演会、講習会、謡曲の集り、ま茶友会（各流お流儀を問わず、週日を定めてお茶席を設ける予定―七東富川まで御申出下さい）の計画も致しております。講習会開催御希望の方も是非御利用下さい。

☆電話…再建会より設備金の寄附を母校にいたゞきましたので、学校と御相談の上、一月五日申込を致しましたが、渋谷局は非常な混雑ですので、目下何時ひけるか見込が立たず悩んでおります。

☆ガス設備…御台所に是非必要となりまして、一月廿八日ガス会社に申込みました。よろしく御後援下さいませ。

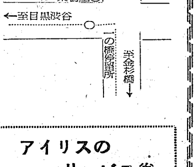
☆寮にふえたお道具…学校のお力及び皆様の御協力により、仰光寮にも段々備品がふえ、皆様のお役に立っております。最近では、座布団（二十）火鉢（十三）カーテン（上下階南面廊下(湯谷)四十）土瓶（五）小皿（二〇）等です。

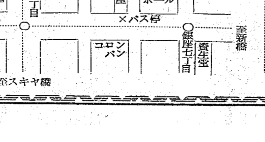
☆お取次している日用品、同窓生の工芸作品は次の通りです。なお何なりと御注文に応じます。

鎌倉彫（下駄、お盆茶托）纐けつ染（のれん、袱、袋物、帯）スモック製品（ブラウス、子供服）手織ウールネクタイ、レース編製品　結城紬

☆仰光寮使用木炭に就てのお願い　冬期には毎月四俵程使用（事務所各集会用）しますので、今年度は夏期に仕入たく思います。地方で御便宜いたゞけます方は御一報賜り度くお願い致します。

アイリス美容室
經營者　30西　星野夏子（舊姓河井）
本店　港区麻布網代町3　電三田(45)6782
支店　中央區銀座6の3　電銀座(57)3081





アイリスのサービス券
この券御持参の方は
一割りお引致します
アイリス美容室

生徒募集
（創立1934年　新校舎落成）
公認　コロムビア洋裁学院
ニューヨーク市ミツチエル
カツテイングスクール出身
院長松崎こと子（六東藤田）
トシマ校舎・豊島区池袋1丁目608
電話(86)4911
池袋東口西口下車線路沿い北え1丁
（大踏切前）
ムサシノ校舎・武蔵野市吉祥寺2022
（寿美病院前）
吉祥寺北口下車　西え1丁公園通十字路際
学生割引定期券あり新学期4月5月

手織紬お奨め
御好評御禮申し上げます。
同窓の皆様には特に實費
（三千圓程度）で差し上げます
尚五反以上の注文織も承ります
二十一東　萩野久子
茨城縣結城郡石下町
萩野織物工場

紳士服。婦人服
子供服。學生服
服装に對する良き相談相手の店
御誂専門　五品館洋裝店
東京都新宿區四谷三丁目一番地
富士銀行前
電話四谷(35)〇六三一番
都電四谷三丁目下車
省線四谷驛下車